

## 比較文化学類・情報文化学コースの4年生の卒業論文執筆に関して・・

### Guide for writing undergraduate senior theses

#### 論文の組み立て（実証研究・理論研究）

文献・比較研究、実証研究という研究方法の違いによって、論文の組み立てが多少かわります。実証的研究の場合、1) 「問題の設定」でまず、文献のレビューとその問題点、研究の目的、そして仮説か研究課題を設定します。2) 「調査（実験）」ここではデータの収集方法とその結果、分析結果、「問題の設定」との関連性について言及します。3) 「考察」では「問題の設定」に対して、どのような結果であったのか、ということについて言及、研究の問題点や限界もここで書きます。4) 「結論」ここでは研究のオーバービューを書いてください。

理論研究の場合は、1) まず、何を研究課題とするのか、わかりやすく説明します。2) 今まで読んできた関連性のある文献をまとめながら、自分の課題との関連性に言及します。3) 実社会において、自分の研究課題がどのような接点があるか述べなさい。4) 考察、5) 結論：これは研究のオーバービューを書いてください。

ただ、課題によってそれぞれ具体的な論文執筆の方法は変わりますので、その都度、直接説明していきます。

文献リストと論文の書き方はAPAを基準に、書いてください。

いずれにしても、3年生のときまでに、いろいろ文献を読んでおいてください。

「どう研究すればよいのでしょうか？」という質問には、

「あなたは今まで何を読んできましたか」という私からの質問が戻ってくると思ってください。

#### 年間スケジュール

1) 夏休み前までに、テーマを決定してください。今までの文献のリストも提出してください。このときまでテーマは確定させてください。（夏以降にぶれると、よい論文は書けません。）

2) 9月1日 - 夏休みの途中ですが10月まで待っていると間に合わないので、「問題の設定」（研究目的のその理論立て）、「研究の背景」と今まで読んできた文献リストを提出してください。文献リストと論文の書き方はAPAを基準に、書いてください。（リンクにある本は特に買う必要はありませんが、その他の方法で確認するようにしてください。）

10月頃に卒業論文の中間発表があります>>このときに論文の骨格とベースが完成していないと、多分、間に合いません。

3) その年に主査している人数にもよりますが、もしも学生が5人以上いる場合は、11月末までに論文をある程度、書き上げてください。そこから、いろいろ訂正、修正、加筆があります（仕上がってから10日間、修正、読み直し、修正する時間が必要です）。もしも完成が遅れた場合、論文を私の方で読むことができなくなります——そして、卒業論文発表会でメタメタにされ、評価も下がってしまいます。卒業論文提出期間中にギリギリ完成して、「みてください！」というのは最悪です。そういう場合は、残念ながら、みることができません。論文の完成が遅れる場合は、悪しからず。

5) 12月、大学事務室に論文の提出。

6) 1月、卒業論文発表会。評価。

## 注意事項

- 1) 連絡とれるようにすること： 卒業論文を執筆している4年生の間は、連絡がとれるようにしてください（最低でも、48時間以内にメールを返す習慣をつけてください。）もしもメールが不得意であれば、他の連絡先をあらかじめ教えて下さい。
- 2) 見てもらう前に事前にチェック： 私にみてもらうものは、一度チェックして、印刷して、紙媒体でください（あるいは研究室B504）に提出してください。指示がない場合は、「メール添付」で送りつけないでください。（尚、皆様はもう小学生ではありませんので、論文の「添削」は行いません。ただ、論文をある程度書き終えたころに、提出前のチェックリストを渡しますので、それに従って、直してください。） 文章は一度友人等にみてもらい、日本語を整えてください。日本語での論文執筆が不得意な場合、英語での論文執筆も可能です。*(If you have trouble writing in Japanese, you may write your senior thesis in English.)*
- 3) 分析などは、なるべく自分で： 多くの論文はデータ分析がありますが、データ処理は本来は学生自身が行うものです。データ処理のための無料のソフトも沢山ありますし、筑波大学の学生は全員、有料の統計ソフトも使うこともできます。どんなに苦手でも、とりあえず、一人で、あるいは友人の力を借りてでもやってみて、結果を私のところにもって来てください。決して、アンケートのデータをメールで送りつけて、「分析しろ」というようなことは、しないでください。
- 4) 4年生なので、メール文は謙譲語を練習してください： 4年生ということは、もうすぐ社会人です。メールやメモの書き方は、少し工夫して謙譲語を使うようにしてください。目上の人には「お返事お待ちしています」あるいは「お返事ください」と書くのは、なぜ変なのか今のうちに勉強してください。
- 5) 副査選びは事前に相談： 副査選びは事前に相談してください。副査の仕事の一つとして、中間報告や発表会・口頭試問後の評価書への署名捺印があります。 中間報告や発表会にも来てもらえない教員は、副査にすると全員にとって面倒なことになります。